

総合工学委員会委員会分科会の設置について

分科会等名：計算科学シミュレーションと工学設計分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	35名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>特定の物理現象、力学現象のモデリングや解析からスタートした計算科学シミュレーションは、急速に学術的深化と適用範囲の拡大を続けており、今やマルチフィジクス・マルチスケールシミュレーションの研究が活発に行われている。そこでは、基礎科学の深化やものづくりの高度化とともに、社会システムの理解と制度設計にも踏み出している。さらに、AI、ビッグデータの時代において、Society5.0を目指したデジタルツインのための計算科学シミュレーションが期待されている。</p> <p>一方、社会実装、工学設計の視点では、エクサスケールシミュレーションやAI、ビッグデータを活用して、計算科学シミュレーションにおけるエコシステムを通じた産業競争力の向上が求められている。</p> <p>上述した状況は、極めて多岐の分野にわたり、個別独立して進む傾向があるため、学術会議の場において議論しリードしていくことが望ましく、本分科会を提案する。</p>
4	審議事項	<p>1. AIとの連携も含めた大規模計算科学シミュレーション</p> <p>2. 新規分野における計算科学シミュレーション</p> <p>3. 計算科学と工学設計に関する産業競争力向上</p> <p>4. 人材育成等</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和2年10月29日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続